



めぐみっこ通信 No.42

H28年4月27日発

暖かな気候が続いている今日この頃。青空の下泳ぐこいのぼりのように、元気に走り回っている子どもたち。こいのぼりを見つけると、「わ〜こいのぼりだ〜！」と駆け寄り「こいのぼりさん大きいね。」「たか〜い！」とこいのぼりに触りたくてジャンプしている子も。すると、こいのぼりを見ながら♪やねよ〜り たか〜い こいの〜ぼ〜り〜♪と自然に歌が聞こえてきます。歌を聞きつけてどこからか集まって気付いたらみんなで歌っているなんてことも。この時期ならではの姿に微笑ましく、可愛らしさを感じたひと時でした。

さて、5月5日は子どもの日。まず思い浮かべるのがこいのぼりなのではないでしょうか。こいのぼりは、いつ頃から飾るようになり、どんな意味が込められているのでしょうか。

登場は江戸時代になってからだと言われています。鯉は清流だけでなく、沼や池などで生きていけるほど生命力が強いため、子どもの健康を願う象徴として使われました。中国に竜門という滝があり、そこを登った魚は竜になると言われていました。その滝に登れる元気な魚は鯉を除いていなかったそうです。そこから鯉は出世魚の代表として考えられるようになったのです。日本では1948年に子どもの日として制定されました。国の祝日として“子どもの人格を重んじ、幸せや成長を願う日”となり、晴れやかな五月晴れの中、元気に泳ぐこいのぼりには、多くの親たちが「元気にすくすく育ちますように」と、子どもへの願いが込められています。

5月5日は**こどもの日**です

☆簡単こいのぼり！子どもたちと一緒に描いてみましょう☆

【白身魚のねぎみそ焼き】 4人分

材料		作り方
白身魚	4 切	①ねぎをみじん切りにし、みそ、砂糖を混ぜる。 ②180℃のオーブンで魚を焼き、焼き目が薄らいたら ①のねぎみそを塗り、もう一度オーブンで焼く。 ③ねぎみそに軽く焼き色がついたらオーブンから出して 出来上がり。 *オーブントースターや魚焼きグリル、フライパン での蒸焼きなどでも作れます。
ねぎ	1/4 本	
みそ	大さじ 2	
砂糖	小さじ 1	

